

みぶ 味生地区

面積：7.23 km²
人口：27,509 人（高齢化率 24.2%）
世帯数：12,284 世帯

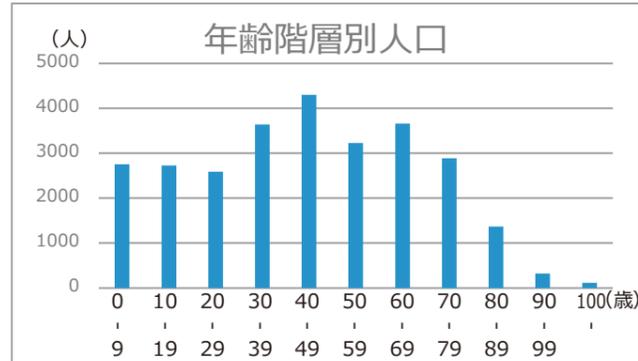


【地区の特色】

味生地区は、松山市の南西部に位置し、南斎院・空港通・北斎院・別府・清住・大可賀・山西の各町から成る静かな住宅地域である。松山市の空の玄関口である「松山空港」に隣接するとともに、貿易促進地区（FAZ 愛媛）の指定に伴い、西部の海岸地帯は近代化学工業が立地する臨海工業地帯である。また、古くから神社・寺院も多く、味生地区の史跡（古照遺跡）を展示する考古館や小・中・高校を地区内に有する文化と教育の地域である。



南斎院町の長屋門



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会がある 自主防災が各地区で整備されている 人が穏やか ・面倒見が良い人が多い 生活がしやすい ・病院が多い バスの便が良い（南斎院） ・電車（山西）が通っている 文化財が多い ・子ども見守り隊の活動が活発 社会福祉法人（施設等）との交流が盛ん ・若い人たちの居住が増えた 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉活動の PR 不足 ・福祉学習へ新たな参加者を増やすための呼びかけ方法 坂道が危険（軽井沢団地、津田団地） ・ふれあいセンター前の道がせまい 真情橋（まごころばし）の道路に歩道が必要 山西地区は大雨台風時に浸水の恐れあり 自由に使用できる集会所が少ない ・マナーが悪い（ゴミ、犬のフン） 川が危ないところがある ・休耕地、耕作放棄地がある 空き家問題がある ・共同募金を集めるのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が多くなり地域の役員の担い手がなくなる（仕掛け人が不足） 高齢者の増加による支援（ゴミ出しなどの生活関連） 障がい者の把握がよくできていない 独居高齢者の居場所→安心して本音を話せる場所が必要 休耕地や耕作放棄地、空き家問題 近隣付き合いの希薄化 ・高齢者と若い世代とのコミュニケーションが少ない 公共の行事（市民大清掃など）の参加者が少ない ゴミ出しのマナーが徹底されていない ・高齢者に対する理解不足

味生地区社会福祉協議会

まごころ 真情で 福祉を支える 味生の里

構成団体	主な取り組み	活動内容
地区民協・広報委員・町内会長連絡協議会・公民館・自主防災連合会・支所・PTA 食生活推進協議会・高齢クラブ連合会・小学校・中学校・保健推進協力会・保育園 地域包括支援センター・少年警察ボランティア協会・更生保護婦人会	津田中学校 1 年生と サロンの交流会	津田中学校の生徒と地域のサロンの利用者による交流会を開催しています。レクリエーションなどは中学生が考えたものを取り入れ、地域と学校をつなぐ取り組みとして行っています。
	小学生から高齢者への メッセージカード	一人暮らしの高齢者を対象に、小学生がつくったメッセージカードを持って民生委員・児童委員が訪問しています。
	ふれあい料理教室	地域内の料理講師を迎え、定期的な料理教室を開催しています。

味生福祉のつどい

地域のサロンや学校、障がい者施設、包括支援センターなど様々な関係機関や団体が協働し、福祉啓発を目的としたお祭りを開催しています。サロンによる発表会や販売、健康相談などを実施しており毎回 700 名近い方が来場されます。



<地区社協が目指すもの>

「みんなは地域のために、地域はみんなのために」を合言葉に、地域の皆さんが明るく楽しく元氣よく生活できるよう支援活動の輪を広げ地域福祉の向上をめざします。

1、まちづくり協議会など関係組織との連携を強化し、多くの課題をより効果的に解決するよう取り組みます。2、地域のニーズを的確に把握し事業内容や予算に反映させます。3、高齢者や障がい者の方々の日常生活での困りごとのお手伝いを支援する地域福祉サービス事業の充実・強化に取り組みます。

地区の状況	■地区民協		■町内会・自治会・区長会等	
	民生委員 主任児童委員	38 名 2 名	33 団体	5 クラブ
		■子ども会	29 団体	
■まち協の設立	平成 30 年度	■自主防災組織	37 組織	

子ども会の数が 40 地区の中で No.1 である味生地区。地区社協や関係団体の取り組みは子どもに焦点をあてたもの、もしくは子どもと協働しながらの活動も多いことから、新旧の子育て世代の住民が地域に馴染みやすいことが特徴と言えるでしょう。味生地区社協は、バラエティーに富んだ構成団体を有しています。<地区社協が目指すもの>からも、地域住民の生活課題の解決に向けた地区社協の意欲が感じられます。地区内関係団体との連携や地域住民の福祉活動への理解拡大のための啓発活動、年齢に関係なく新たな活動者の発掘を図りながら、地域福祉サービス事業を柱とした今後のさらなる活動の強化が期待されます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区

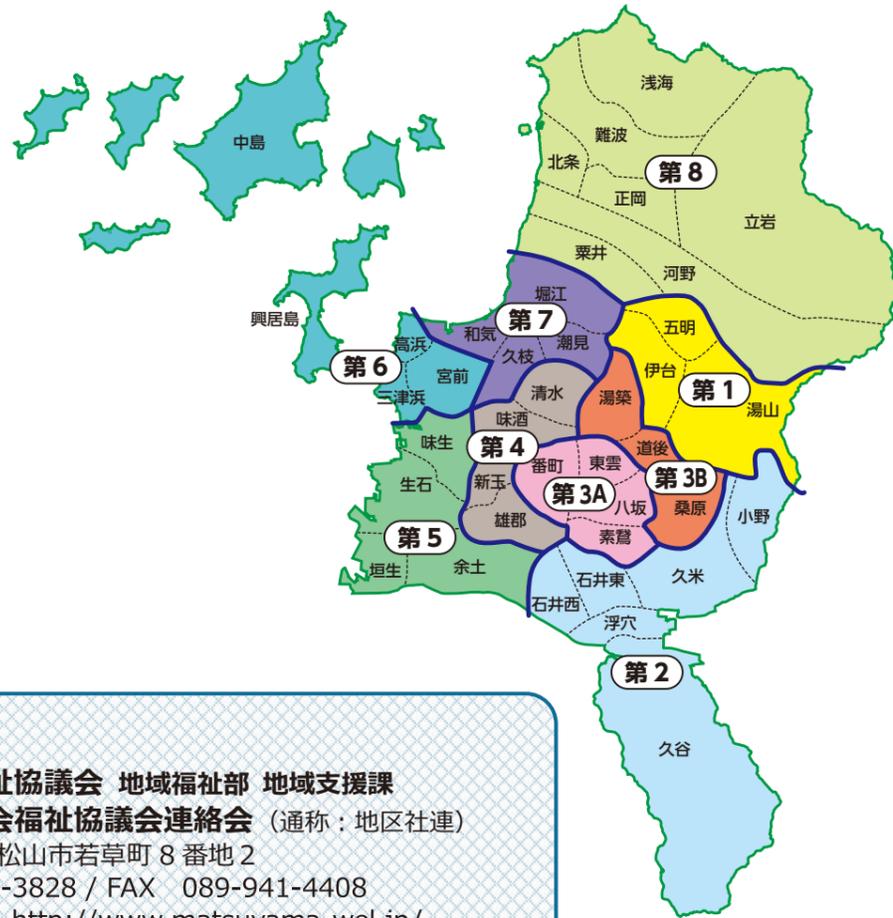
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏